



2005.3.26 庄原市水越町

【ユキワリイチゲ（雪割一華、別名：ルリイチゲ）】 *Anemone keiskeana*

イチゲの仲間には春に葉と花を同時に出すものが多いが、ユキワリイチゲは9月頃から芽を出して、冬越しする。暖かい冬には2月のうちに開花が始まることもあり、雪の中に咲くのを見ることがしばしばである。根生葉は3枚の菱形の小葉があり、切れ込みが浅く、葉脈に沿ってうっすらと斑が入っている。花茎は高さ20～30cm。萼片は12～15枚あり、藍紫色または紅紫色を帯びる。パステルカラーでかわいらしい。吉備高原面の古生層や安山岩の地域に見られることが多い。

- 花期 2～4月
- 分布 鳥・島・岡・広 本州（近畿以西） 四国 九州



2010.4.3 安芸高田市

【ケスハマソウ（毛州浜草）】 *Hepatica nobilis* var. *japonica* f. *pubescens*

いわゆる雪割草と呼ばれる仲間には、ミスミソウ、オオミスミソウ、スハマソウなどが知られ、春先に咲く花の代表選手の一つである。その中で、近畿以西に分布するもので、葉の両面に毛があるものをいう。太い地下茎の節から太い根を出し、先端からは根生葉と花茎を伸ばす。根生葉は柄に長い毛があり、中裂して3枚の裂片に分かれる。裂片の先端は円頭～鈍頭でこれがミスミソウとの大きな区別点であるが、ときに先端が尖りミスミソウと言いたいような個体を見かける。花は直径2～2.5cm、萼の色は白～濃い紅紫色。

- 花期 2～5月
- 分布 中国地方全域 本州（近畿以西） 四国





2006.4.23 庄原市東城町

【ケイリュウタチツボスミレ (溪流立坪堇)】 *Viola grypoceras* var. *ripensis*

タチツボスミレの溪流型変種。環境に適応して、地下茎はよく発達し細根も多い。節間は短く、高さ5~10cm。株立ちになる。葉は3角形、長さ・幅とも1~2.5cm。光沢があり、基部は切形~浅い心形、縁には鋸歯がある。花後の茎葉の基部は切形~くさび形になり、菱形に近い形をしている。花は約1.5cmで淡紫色。唇弁には紫色の条がある。距は上向き。タチツボスミレに似るが、花弁はやや細い。県内では北部や、東北部の河川中流域に生育。増水すると完全に冠水する岩上の苔の中に咲いていた。

- 花期 4月
- 分布 岡・広・山 本州(神奈川・長野・富山県・京都府)



2008.4.27 庄原市口和町

【ニオイタチツボスミレ (匂立坪堇)】 *Viola obtusa*

春、たくさんのおスミレが咲くが、香りをあまり感じたことがなかった。この花に香りがあるというので嗅いでみた。咲き始めの花に、かすかに香りがあった。花弁が重なり合うように咲き、花が円く、かわいい。全体に白い短毛がある。高さ5~15cm。葉は広卵形、長さ1.5~3cm。花時には地上茎がないように見えるが、花後伸びる。花は1.5~2cm。濃紫色~紫紅色。中心部は白く、抜けたようになり、唇弁には紫色の条がある。距は長さ6~8mm。花柄に白い微毛がある。県内では、内陸や北部の山地、林縁で見える。

- 花期 4~5月
- 分布 中国地方全域 北海道西南部~九州





2004.5.5 世羅郡

【エビネ (海老根)】 *Calanthe discolor*

地下の偽球茎が連なる。その形が海老に似ていることから名が付いた。葉は2~3枚、長さ15~25cm。花茎の高さ20~40cm、花は約2cm、5~15個が総状に付く。萼片と側花弁は褐紫色。唇弁は淡紅色で深く3裂する。中央には隆起した3本の条がある。萼片と側花弁が淡緑色で、唇弁が白いものをヤブエビネという。花色は変化が多い。雑木林の林床に生える。

●花期 4~5月

●分布 中国地方全域 北海道西南部 琉球 濟州島



2008.5.11 ヤブエビネ



2007.5.16 広島県東部

【キエビネ (黄海老根、別名：オオエビネ)】 *Calanthe sieboldii*

黄色いエビネ。エビネよりも大きく見え、どっしりとしている。初めて見たとき、薄暗い林の中に、そこだけ陽が射し込んでいるかのようなようだった。花茎の高さ30~50cm。葉は広卵状楕円形、長さ15~25cm、幅は広く8~12cm、先端は急に細くなり尖る。花は少し重そうに下を向き、大きく3~4cmで10個ぐらい付く。背萼片より側萼片と側花弁はやや細い。唇弁は深く3裂し、側裂片は腎形、中裂片には縦に条があり縁は波状になる。先端は2裂しない。県内では山地の林床に生えるが少ない。

●花期 4~5月

●分布 中国地方全域 本州 (和歌山) 四国 九州 濟州島